

◆平成31年1月～令和元年9月事故の状況◆

【事故の特徴】

☆事故件数は、「38件」発生しており、昨年と比較すると9件減少(但し除雪事故含む)

☆9月までの事故**38件はH27年以降で最も少ない**

☆H27以降事故件数は減少しているが、**死亡事故が3件発生(昨年は0件)**

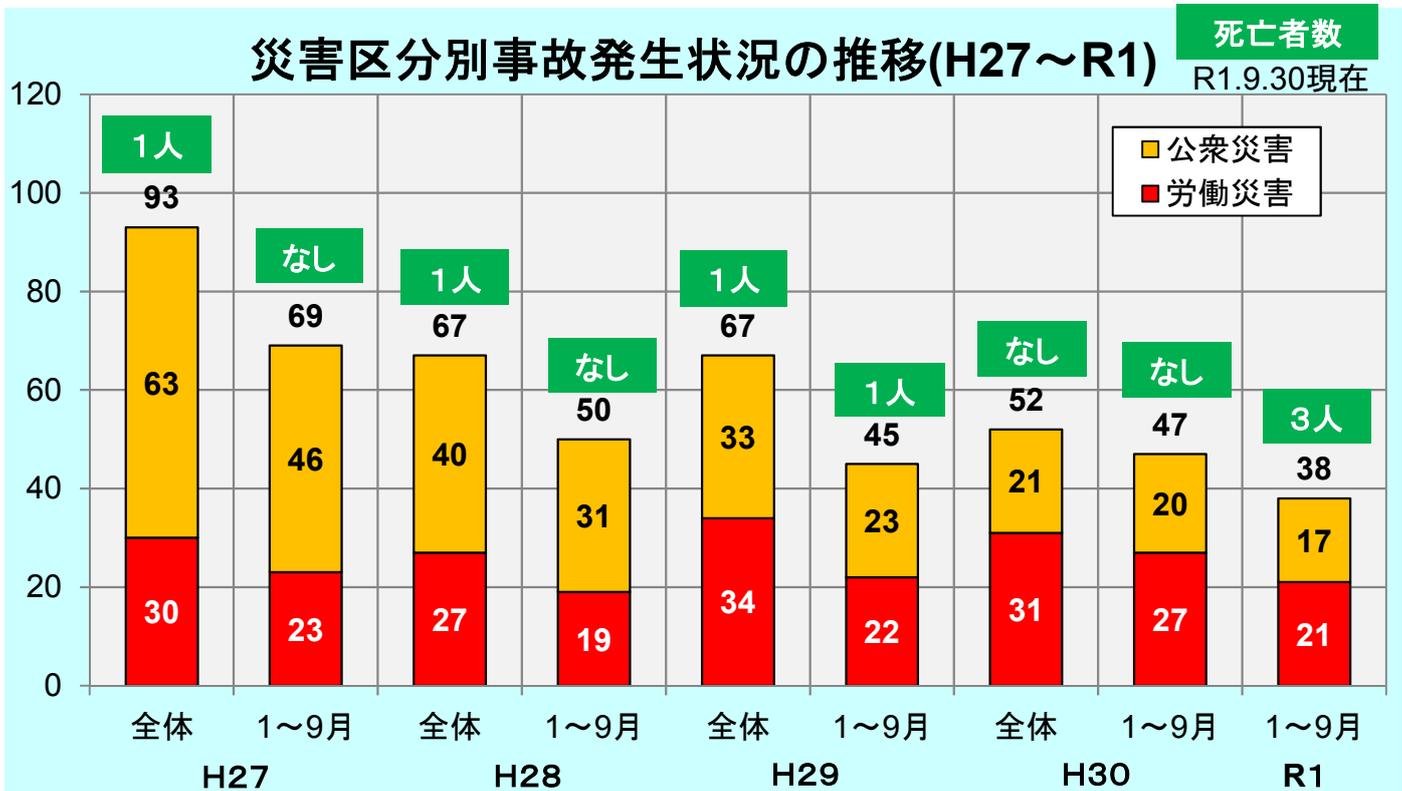
★ 6～9月の3ヶ月間に死亡事故が3件発生。(H27年以降で最多)

※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

1. 事故の発生状況

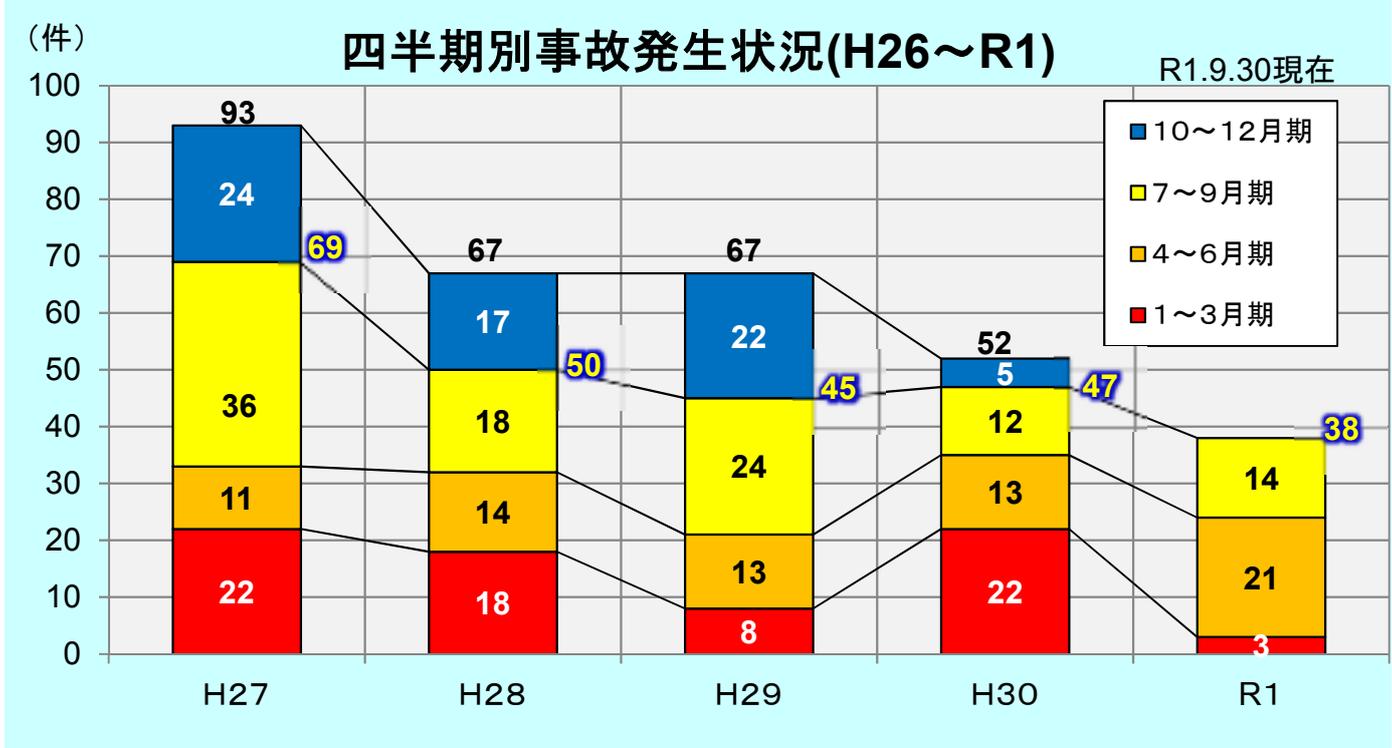
1) 各年の事故件数の推移

平成31年1月から令和元年9月の事故は38件発生。昨年の同時期からは9件減少しています。公衆災害は17件と昨年から3件減少、労働災害は21件と昨年から6件減少しています。



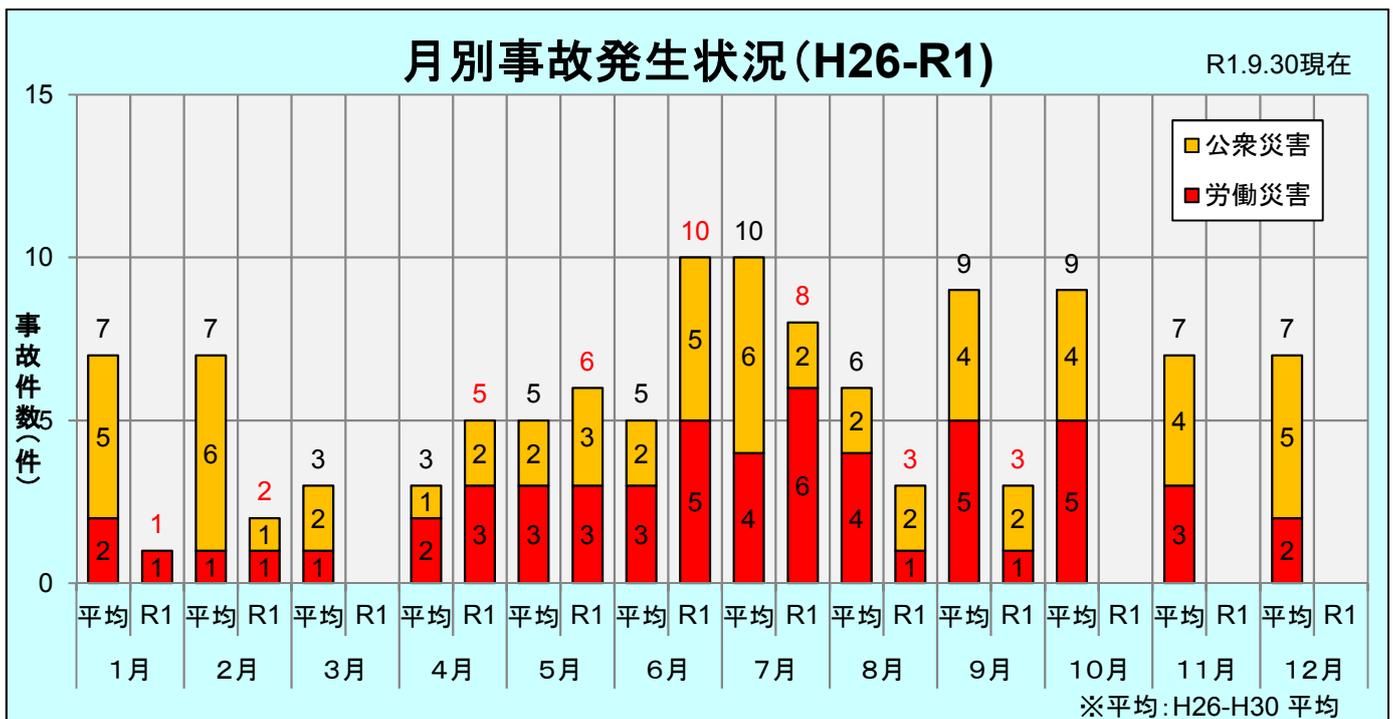
2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H31年1月～3月では3件発生し、昨年
から19件減少。4月～9月は35件発生し10件増加（約4割増）しています。



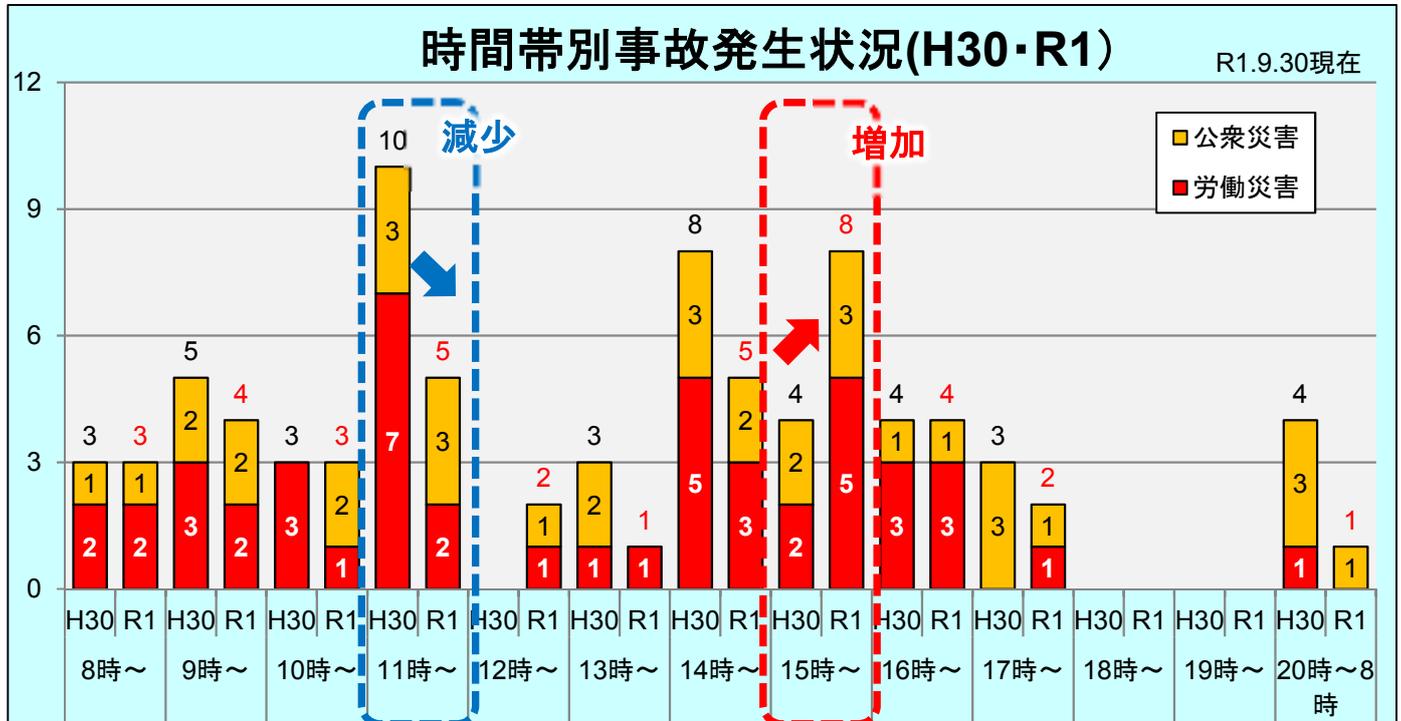
3) 月別の事故発生件数

H26～H30の5カ年平均と本年を比較すると、1～3月は減少。4月～6月
は1～5件増加し、7月以降は減少しています。



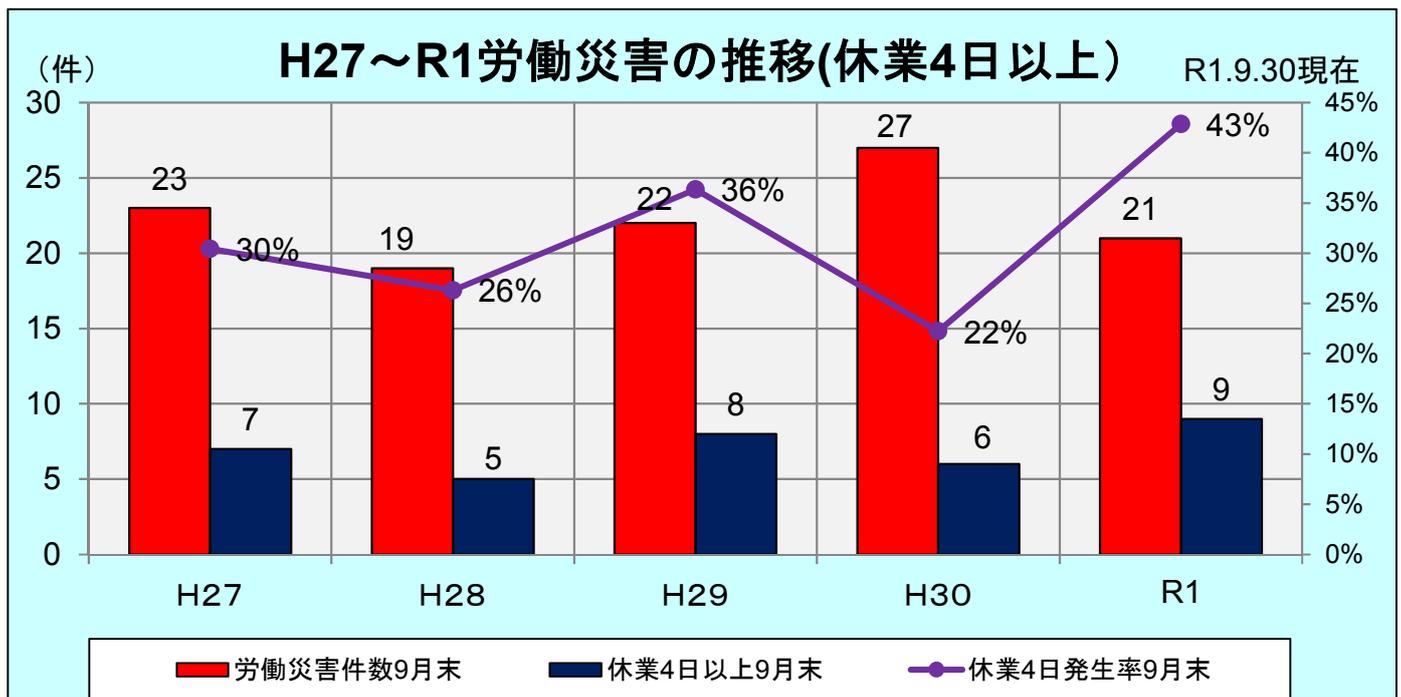
4) 時間帯別事故発生状況

H30とR1を比較すると、午前11時台が10件から5件と大きく減少し、午後15時台が4件から8件に倍増しています。



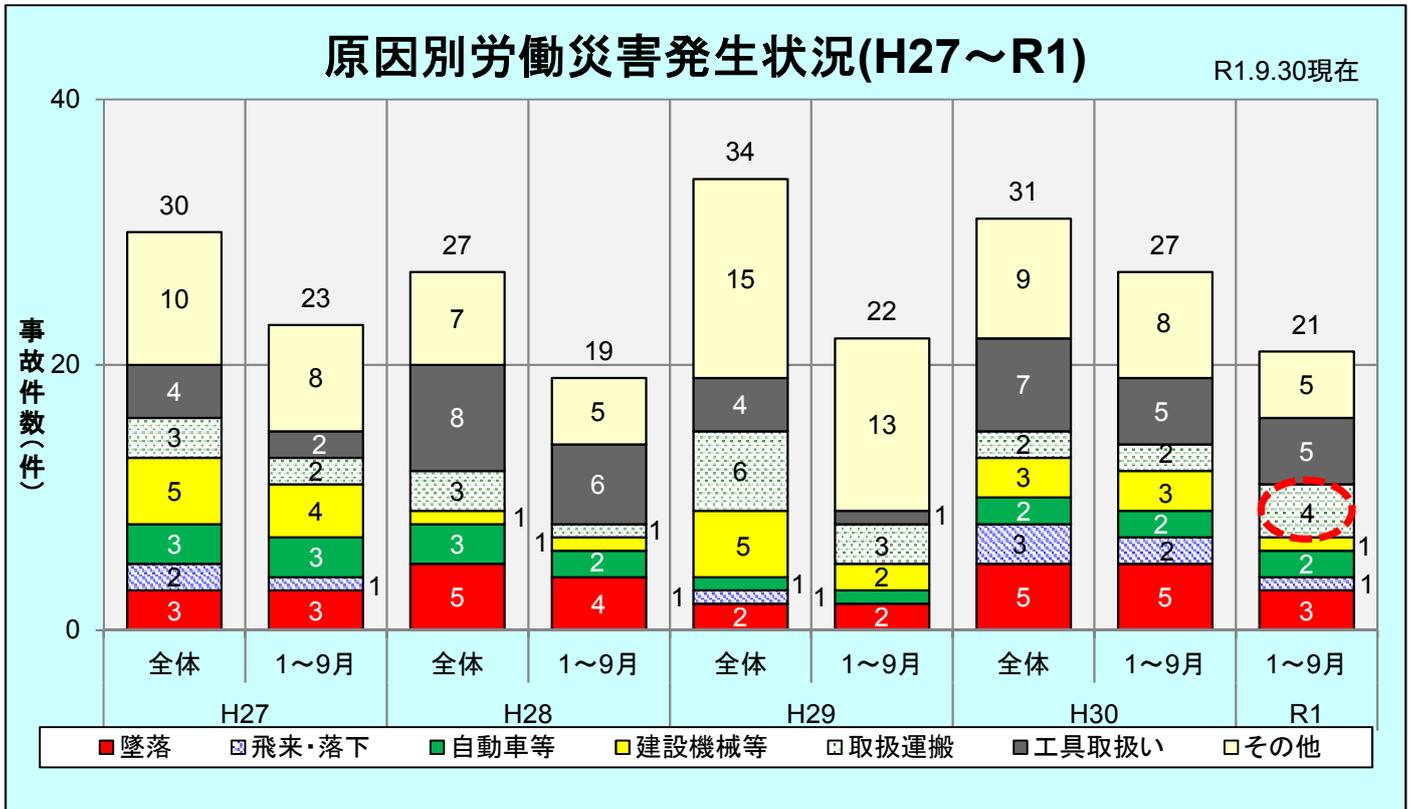
5) 休業4日以上の事故発生状況

R1年9月までの労働災害は21件発生し、昨年から6件減少。休業4日以上の事故は9件発生し、昨年より3件増加。労働災害に占める休業4日以上の事故の発生率はH27以降最も高く43%となっている。



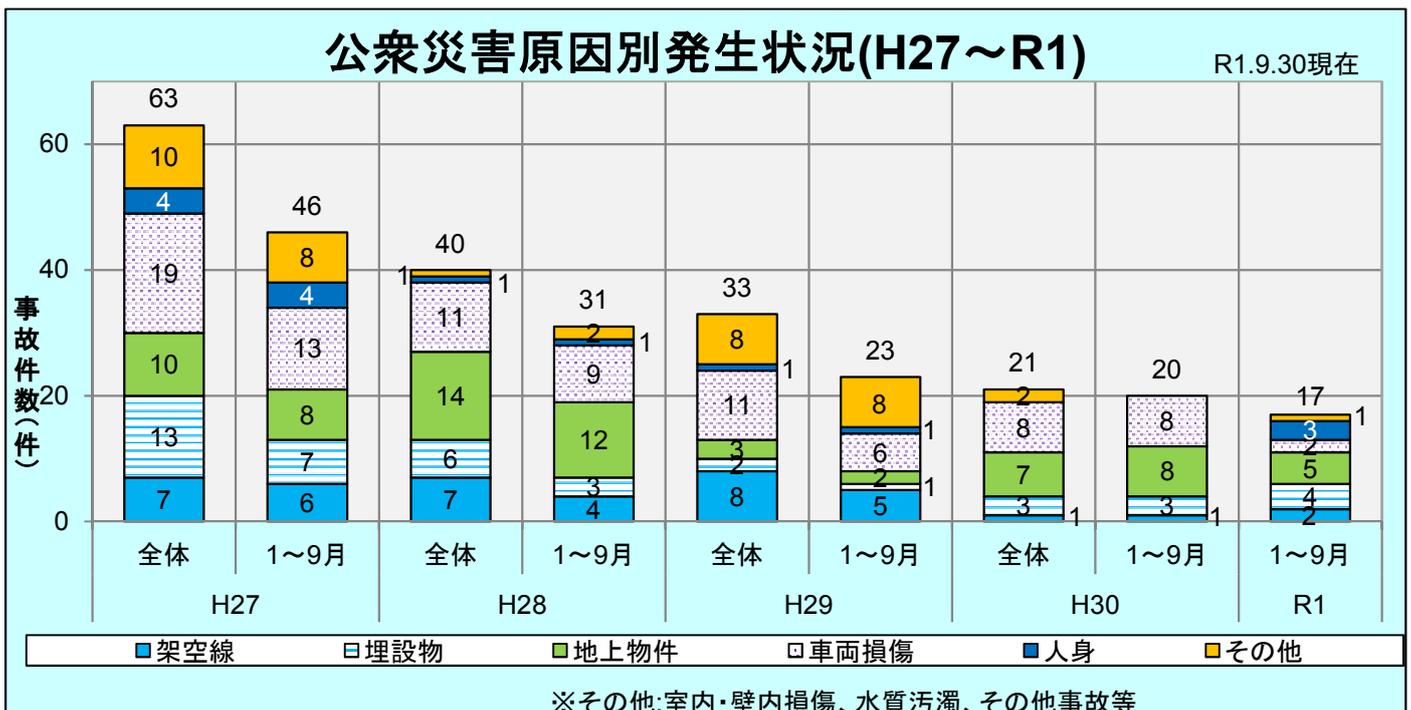
6) 労働災害の原因別事故発生件数

R1年9月迄の労働災害の事故発生原因では、昨年に比べ取扱運搬が原因の事故が増えています。



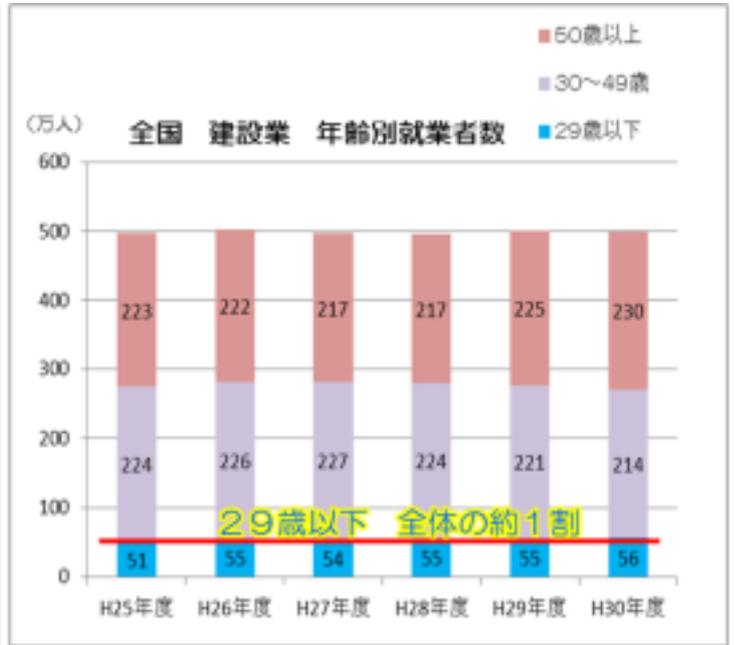
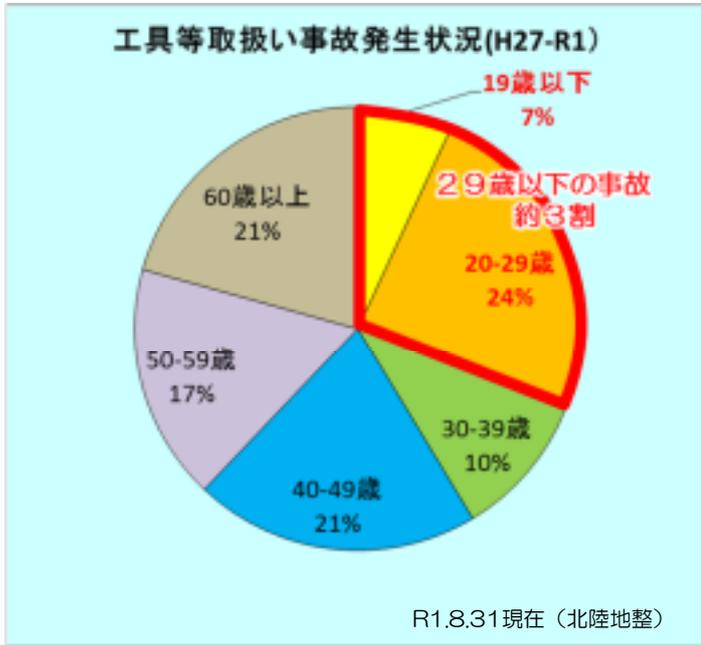
7) 公衆災害の原因別発生状況

R1年9月迄の公衆災害の事故は17件で、H27以降最も少ない。発生原因では、昨年に比べ架空線、埋設物、人身事故が増加しています。



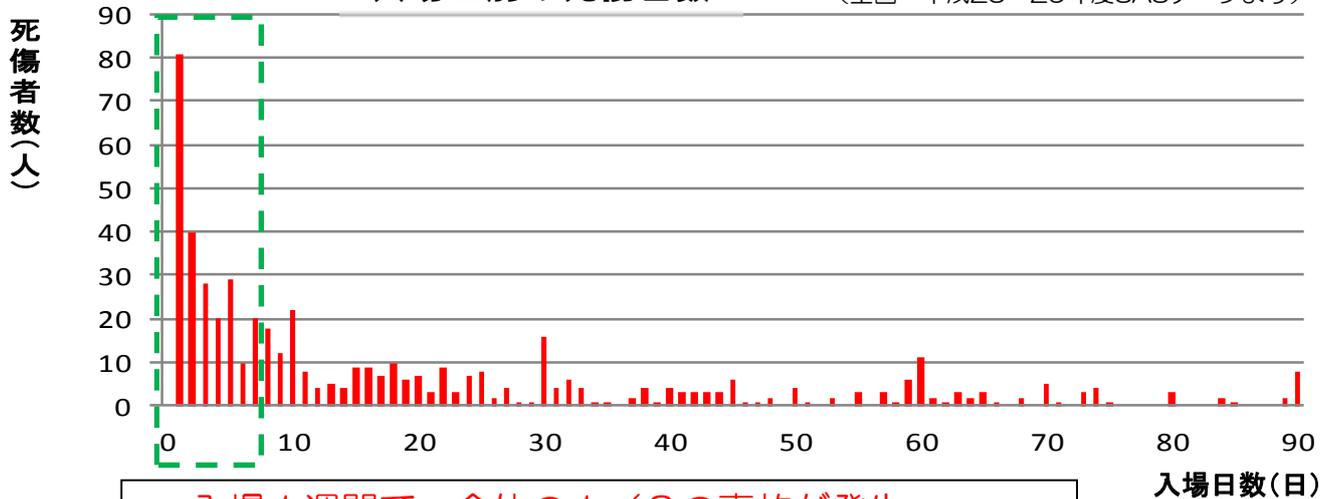
8) 工具取り扱い事故発生状況

H27～R1の状況では29歳以下の事故が約3割を占めている。建設業全体に占める29歳以下の就業者は約1割程度であるが、人力除草による鎌等工具等の取扱いにより被災する事故が多い。(工具等：草刈り鎌、釘打機、ディスクグラインダー等)



入場日別の死傷者数

(全国 平成25～29年度SASデータより)



- ・ 入場1週間で、全体の1/3の事故が発生
- ・ 特に初日の被災が突出している。
- ・ 2/3の事故は約1ヶ月以内に発生

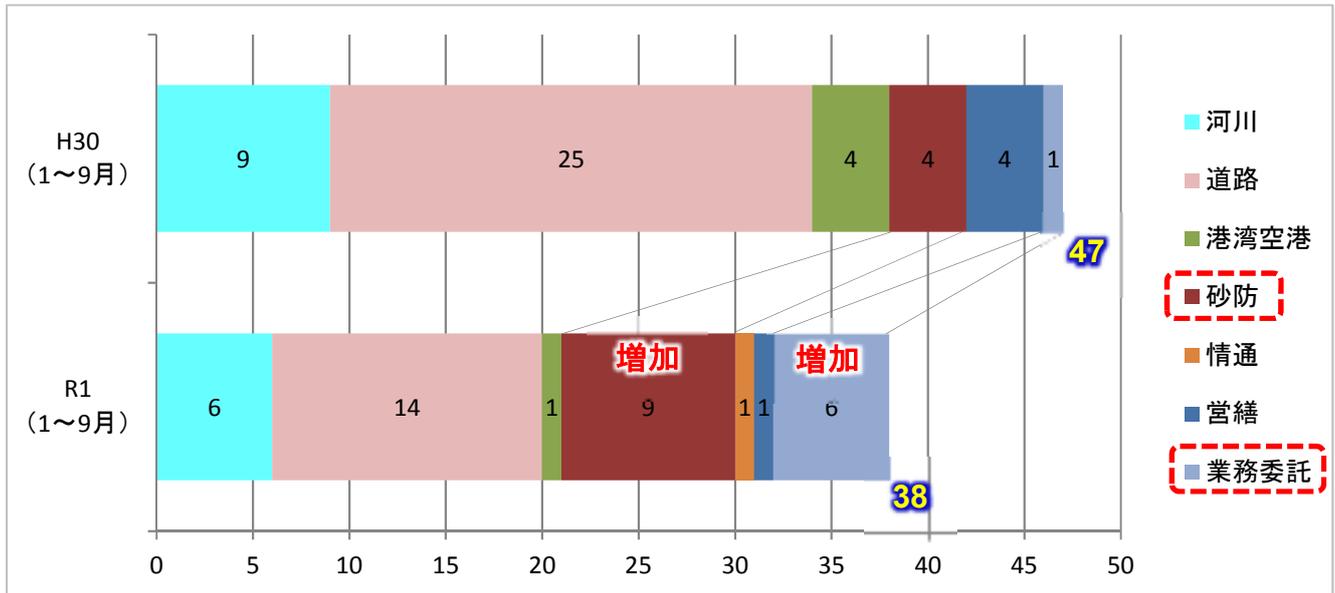
○ 細やかな新規入場者教育が必要

- ・ リスクアセスメントに基づく安全教育の周知徹底
(潜在的な危険性や有害性を把握し、労働災害が起きる前に対策を講じることが重要です。)

9) 事業分類別事故発生状況

事業分類別の事故発生状況をH30とR1で比較すると、**業務委託、砂防**における事故が増加している。

現場作業が伴う、**業務委託**についても安全対策協議会による安全パトロールを実施する等、**事故防止の取り組みが必要**。



2. 事故発生事例

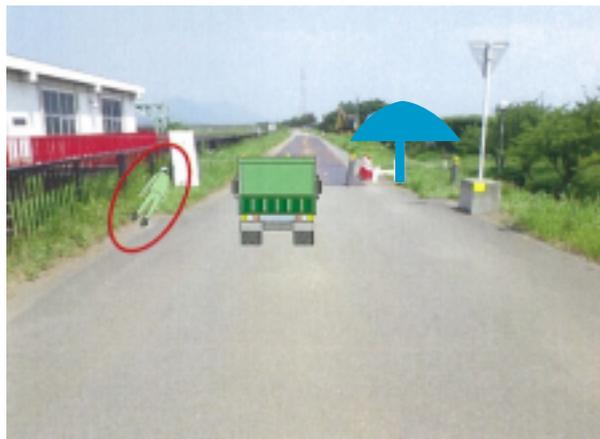
熱中症により交通誘導員が死亡(人身事故)

- ①日時: 令和元年7月26日(金)14:10頃
- ②業務内容: 土砂掘削工事
- ③事故内容: 交通誘導員が現場で倒れ意識不明となり、救急搬送された。
- ④被害状況: 熱中症により死亡

写真①



写真②



14時10分頃 DT運転手がうつ伏せで倒れている誘導員を発見

【事故発生状況】

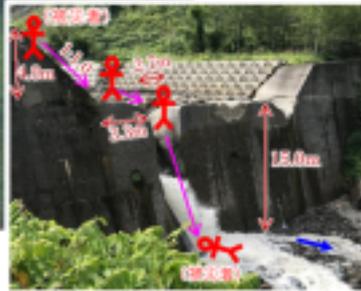
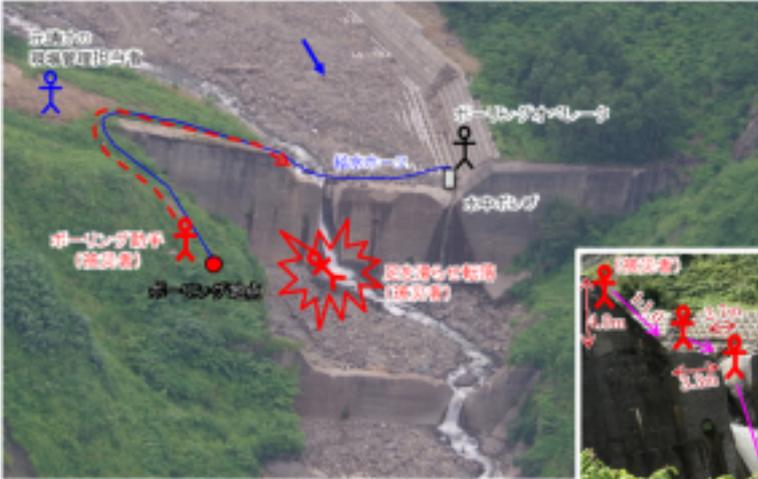
14時10分頃に警備していた誘導員が倒れていたのを、通行したダンプトラック運転手が発見し救急車を手配した。その後、ドクターヘリにより救急搬送され、病院にて治療が行われたが、その後死亡が確認された。

【事故発生原因】

- ・ 交通誘導作業中に熱中症を発症し、死に至ったものであり、厳しい暑さの中での急激な体調の悪化、重症化が原因と思慮される。
- ・ 休憩時に体温を測り様式に記入し、異常がある場合は職長へ連絡することとなっていたが、当事者の体温測定への記入がなかった。

地質調査員が砂防堰堤から転落し死亡(人身事故)

- ①日時: 令和元年9月2日(月)17:30頃
- ②業務内容: 地質調査
- ③事故内容: 砂防堰堤から足を滑らせ転落し被災
- ④被害状況: 死亡



【事故発生状況】

砂防堰堤の右岸でボーリング調査の準備中、左岸側にポンプを設置し、取水テストを行っていた。

ボーリングマシン付近にいた被災者が、水の出が悪いのでポンプ付近にいた作業員へ伝えようとして砂防堰堤の袖から水通しまで近寄り足を滑らせ河川内に転落した模様。翌日(3日火)砂防堰堤の下流約200m地点で心肺停止状態で発見

【事故発生原因】

- ・ 詳細調査中

山道から車が滑落 3人が重傷(人身事故)

- ①日時: 令和元年9月22日(日)10:10頃
- ②業務内容: 多重無線装置製造
- ③事故内容: 無線中継所より車で下山中、山道から外れ車ごと15m崖下に転落しドクターヘリで搬送
- ④被害状況: 21歳(肋骨骨折、足首骨折、肺挫傷、肝損傷)
25歳(左腕骨折、骨盤骨折)
46歳(肩骨折、腰骨折、右足骨折)



【事故発生状況】

多重無線装置更新に伴い、無線中継所より下山していたワンボックス車が約15mの崖下へ滑落した。乗っていた作業員3人が手や足を骨折し、ドクターヘリで病院へ搬送された。

【事故発生原因】

- ・ 車両の山側の樹木を避けようと崖側へハンドルを切った。
- ・ 崖側の車道端部が、雑草の繁茂により認識出来なかった。

4. その他

1) 建設工事公衆災害防止対策要綱の改正

改正 建設工事公衆災害防止対策要綱 土木工事編／建築工事編 が令和元年9月2日公布・施行されました。



改正でここが変わりました

Point 1 関係者が持つべき理念と責務を規定

<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🔍 理念・責務を明確化</div> <p style="font-size: small;">建設工事に関係する者は、関連法令及び当該要綱を遵守することを明記し、当該要綱を守るのみならず、より安全性を高める工夫や周辺地域の被害等を防止し、万全を期さなければならないことを規定</p>	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🔍 設計段階での配慮・情報の伝達</div> <p style="font-size: small;">工事の設計にあたっては、現場条件を調査した上で、施工時における公衆災害の防止に配慮しなければならないことや、施工者等に必要な情報を十分に伝達することを明記</p>
<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">✳️ リスクアセスメント</div> <p style="font-size: small;">工事に先立ち、リスクアセスメントによって公衆災害の危険性を特定し、当該リスクを低減するための措置を具体的に講じる（該節により危険性の低減が図れない場合は施工計画を協議することを規定</p>	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">📄 適切な工期の確保・公衆災害防止対策経費の確保</div> <p style="font-size: small;">適切な工期や費用について設定・確保するとともに変更事項についても必要に応じて工期や経費の見直しを検討することを規定</p>

Point 2 近年の公衆災害事例をふまえた見直し

<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🏠 埋設物の確認・保全措置</div> <p style="font-size: small;">施工前に埋設物管理者等が所有する資料（台帳等）と設計図書等を照会することを確認</p>	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🚧 建設機械の施工・移動時の措置</div> <p style="font-size: small;">建設機械の移動及び作業時における措置について、転倒や転落または接触による被害事故を防止するため、より具体的に規定</p>
<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🚧 架線接触の事故防止措置</div> <p style="font-size: small;">架線、積造物等に接触した作業時における具体的な措置について規定するとともに、その情報を作業員等に確実に伝達することを規定</p>	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🏗️ 足場等作業時への事前の備え</div> <p style="font-size: small;">「足場等の取組（組立・解体時）」に対しては、事前に危険性評価等を行うとともに、当該の発生リスクが高くなる「資材の上げ下ろし作業」は、原則、作業現場内で行うこと等を規定</p>
<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🏗️ 解体工事中の事故防止措置</div> <p style="font-size: small;">解体対象建築物の情報を可能な限り施工者に提供し、積造的に自立していない部分や異なる部分の解体について対策を明記</p>	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🌪️ 荒天（強風等）時への事前の備え</div> <p style="font-size: small;">あらかじめ荒天時（強風、豪雨、大雪等）の具体的な措置（作業中止の基準、作業中止時の具体的な措置）を定めることを規定</p>
<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🚢 河川航行時の事故対策</div> <p style="font-size: small;">河川航行中における、建設資材等の運搬中の公衆災害の防止措置を規定</p>	

Point 3 制度の改正や施工技術の進展等をふまえた見直し

<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🚁 無人航空機の落下事故対策</div> <p style="font-size: small;">建設現場におけるドローン等の操作を行う場合における、公衆災害の防止措置を規定</p>	<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">👴 高齢者・車椅子利用者等への対応</div> <p style="font-size: small;">工事の実施にあたり、やむを得ず歩行者の通行を制限する場合には高齢者や車椅子利用者等にとって安全な歩行経路を確保することを規定</p>
<div style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">🚧 建設機械のレンタル化への対応</div> <p style="font-size: small;">レンタル（株式会社）建設機械を使用する場合、必要な取扱整備がなされていることを確認することを規定</p>	

国土交通省
大臣官房 技術調査課
TEL:03-5253-8111

土地・建設産業課
建設業課

- 土木工事及び業務等の共通仕様書に位置づけのある「建設工事公衆災害防止対策要綱」を新要綱に読み替え、令和元年9月2日より適用
- 「土木工事安全施工技術指針（平成29年3月31日）」において引用されている「建設工事公衆災害防止対策要綱」の各項目については新要綱に読み替え
- 土木工事及び業務等の共通仕様書（案）については、次期改定時に反映予定

2) 北陸地方整備局安全管理優良受注者表彰

【表彰の主旨】

北陸地方整備局では、平成元年より毎年9月第4週を「労働災害防止週間」と定め、建設工事における労働災害の防止に取り組んでいます。

その一環として、工事関係者の更なる安全に対する意識向上を図ることを目的に、平成11年度より受注者による自主的な安全衛生管理体制の整備と、現場での安全対策の取組に対して、その安全管理が特に優良で他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰しています。

表彰者は、社内の安全管理体制、工事現場における日々の安全活動、安全教育の充実、安全管理活動の推進と安全衛生管理に対する貢献等が特に顕著な受注者を選定しています。

【令和元年度の表彰】

平成30年度に完成した工事の受注者336者の中から特に安全管理に関して優良な17者を選定し、令和元年9月17日に表彰を行いました。

【受賞によるメリット】

・安全管理優良受注者表彰の受賞により10月1日以降の総合評価落札方式における評価として1点が2年間加算されます。



令和元年度 安全管理優良事例集をHPに掲載

今年度、安全管理優良を受賞された17者の取り組み事例を北陸地方整備局ホームページに掲載しましたのでお知らせします。安全教育、安全管理等の参考として下さい。

安全管理優良受注者表彰 北陸 事例集

検索



3) 北陸地方3ヶ月予報 (11月から1月まで)

令和元年10月25日
新潟地方気象台 発表

<予想される向こう3か月の天候>
向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
この期間の平均気温は、高い確率50%です。

11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

12月 平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

1月 平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。



4) 降雪期の事故に注意

気温の低下と共に、冬の訪れを感じる季節となりました。低温時は体が硬くなり、少しのことで躓いたり、転倒するなどケガに繋がる可能性がありますので、作業開始前に準備運動を行う等、事故防止対策をお願いします。

また、例年除雪作業に伴う接触事故や、積雪により視認出来ない地上物件を重機で損傷させる事故等が発生していますので、重機の操作にあたっては、改めて注意をお願いします。

北陸地整

移動中雪で滑って転倒した(人身事故)

①日時:平成28年2月1日(月)13:35頃
②工事内容:橋梁架替工事
③事故内容:ワイヤーを取りに行った際、雪で滑って転倒し土留材に頭をぶつけた
④被害状況:顔面挫創(全治2週間)

その他事故

【事故発生状況】
埋戻し作業が終了し、不要となった水槽を吊るため、ワイヤーを取りに行き、戻る途中に雪で足を滑らせて転倒し、置いてあった土留材に頭をぶつけた。



北陸地整

除雪トラックが停車中の一般車両に接触(物損事故)

①日時:平成30年1月31日(水)13:23頃
②工事内容:道路除雪作業
③事故内容:PAの除雪作業において後進時に停車中の一般車両に接触した
④被害状況:荷台シート破損、塗装はがれ

交通事故

一般車との距離不足
停車車両接触箇所
除雪トラック損傷箇所

【問合せ先】北陸地方整備局企画部 技術検査官 岩崎 TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861